

特集 "PROJECT 2010"

ニュースレターをご愛読いただいている皆様、あけましておめでとうございます。  
2010年最初のニュースレターは、『PROJECT 2010』と題しまして、加藤一成建築設計事務所にて現在設計が進行中のプロジェクトの中から、今年竣工予定、あるいは実施設計予定のものをいくつかご紹介したいと思います。

I-House CM#06



秋田市内に建築予定の、ご夫婦+子供1人(将来は2人)のための住宅です。  
敷地は第一種低層住居専用地域内で、良好な住宅地の中の整った形状の敷地です。方位や車の取り回しを考慮し、住宅を南東に開いたL字型に配置し、庭を囲い込む計画です。  
独立性のある和室や、キッチンと水回りのつながり、プライベートゾーンとパブリックゾーンのつながりなど、それぞれの程よい関係を大切にしたい住宅と言えます。  
工事は、分離発注による施工を予定しています。

T-House



秋田県横手市に建築予定の住宅です。  
未だ独身の施主、妹、ご両親のための住宅です。  
現時点では、ある意味不安定で、将来的に家族の状況が大きく変化していく可能性がある中で、フレキシブルにある程度変化に耐えうるプランの提案に注力しました。  
それぞれのプライベートゾーンとパブリックゾーンのあり方、生活時間帯の違いを考慮し、お客様のご要望も取り入れたプランです。  
2階のフリースペースなど、余白を残しながら家族の変化に対応可能な住宅であって欲しいと思います。

Cut-O



岩手県内で戸建テナントを改装予定の、理容・美容が一体となった低価格カットハウスのインテリア計画です。  
店舗の性格上、過大な予算をかける事はできませんが、ローコストでありながらも少しでも快適にリラックスできる空間を提案します。  
さらに、スタッフの作業性やスピードも大きな要素となるので、限られた予算の中でそれぞれのバランスをとる作業が必要になります。  
効率重視の作業場にデザインの要素を加える事により、プラスアルファのサービスの提供に少しでも協力ができればと考えています。

K&O-House

秋田市内に建築予定の、2棟の住宅です。  
間口に比べて極端に奥行の長い、いわゆる「鰻の寝床」的な敷地に、親子の2棟の住宅が建ちます。  
奥の敷地は旗竿状になり、手前も奥の住宅の通路のため細長い敷地になっています。  
基準法的には全く別の2棟の住宅ですが、関係としては一体の住宅に近く、お互いの関係・無関係を、どのように整理・関連付けていくか、大きな課題です。

H-House

青森県内に建築予定の、ご夫婦+子供1人(将来は2人)のための住宅です。  
奥様もフルタイムで働く共働きのご夫婦ですので、オフタイムの安らぎや家族との時間を大切にしたいというご要望を一定の枠の中で実現すべく、多用途・多目的な空間の確保を、設計の初期段階のテーマに掲げています。

Media

木材利用推進中央協議会発行、写真で見る「木」の施設に、優良木造施設受賞作品として秋田駅西口バス乗り場修景整備が掲載されました。

刊行のことばより  
本事例集は、平成21年度優良木造施設のコンクールを実施した際、各都道府県等の関係者からご推薦いただいた75事例について、主として大規模な公共木造建築物等を紹介していますが、木造利用推進の観点から木橋などの身近な公共施設の事例もあります。



お知らせ



宮城県仙台市で建築家展に参加します。

ASJみちのくスタジオ  
未来をのぞく住宅展

2月13日(土)・14日(日)・15日(月)

トステムショールーム仙台  
宮城県仙台市若林区卸町東 4-4-6  
2/13(土) 12:00~18:00 入場無料  
2/14(日) 10:00~18:00 入場無料  
2/15(月) 10:00~16:00 入場無料

仙台市、およびその近郊の方、是非お出でいただき、お声を掛けてください。

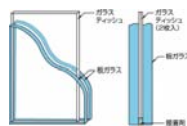
スタッフの日常・非日常 vol.21



こんにちは。スタッフの渡部です。  
現場で大工さんに本をお借りました。「木に学べ」西岡常一著。法隆寺・薬師寺の棟梁が、関西弁で語る形式。「木のクセを見抜いて適材適所に使う」「木を組むには人の心を組め」「電気ガンナは回転で繊維ちぎってるんですから、水はいくらでもしみこむわな」「道具は肉体の先端や」「いかにも虹の一片を切り取ったような美しく優しい形をしています。これが飛鳥の良さです」「雲肘木の通りの雲が出た」「この法隆寺のことで学者と大論争をやったんです」「お互いに塔を長くもたせたいという考えは同じなんですな」「私は仕事の上から、大工の側から言うわけですが」苦笑。以上抜粋でした。とても面白く本当に勉強になりました。



今月のマテリアル



セントラル硝子「ホワイトレックス」

ホワイトレックスは、ガラススティッシュを2枚のガラスではさみ、ファッショ感覚をもたせたガラスです。  
以前「清水の教会」で使おうとしたが、諸事情により断念。今回、北上の「HairSalon-F」にてちょうどした間仕切りとして使用予定です。  
ちなみに、Kh-house Refiningでは室内建具のガラスとして採用し、摺りガラスとも違う柔らかな雰囲気を出しています。

編集後記

みなさんこんにちは。2010年も半月が過ぎました。年末年始は、いかがお過ごしでしたか？

振り返りまして、皆様にとって2009年とはどのような年でしたか？(つてこれ12月号の話題ですよ？(笑))  
私は、・・・50歳になった年でした。50年、半世紀も生きてしまったんですね。(泣笑)  
建築家にとって、50歳は一つの壁だと言われています。確かに私のように住宅や商業施設の設計をする建築家にとって、クライアントとの年齢差・価値感の差は、やはり大きな要素なのだと思います。クライアントの多くは30~40代で、彼らの持つ価値や感覚を理解した上での設計が必要になりますが、50歳と言いますと、徐々に彼らからの年齢と開きが出てきます。  
一方で、世界をリードする建築家はまだまだ私より年上の建築家も多く、その発想力には目を瞠めるものがあります。そこには年齢など微塵も感じさせない斬新で挑戦的なコンセプトが存在します。創造へのあくなき欲求と挑戦、これを失くしたら建築家はおしまいですね。あつ、お客様にとっては、あまり挑戦されるのも困りものでしょうけど・・・(苦笑)

それでは次回どうぞお楽しみに。



今月の加藤一成

ヘアサロン現場調査中、ミラーに映る真面目な加藤。

Web Site

- Home トップページ
- Profile プロフィール
- Concept コンセプト
- Service 業務案内
- Works 設計事例
- Conference 無料相談

ニュースレター  
「建築家の日常・非日常」  
発行責任者：加藤 一成  
株式会社 加藤一成建築設計事務所  
TEL. 018-831-4315  
FAX. 018-831-4316  
HP. http://www.isei-design.com  
BLOG. http://www.isei-design.com/blog/  
MAIL. info@isei-design.com